

第10回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
教育活動・学校事務部会（会議録）

会議の名称	第10回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 教育活動・学校事務部会
開催日時	令和7年2月12日（水） 午後7時から
開催場所	明智文化センター 大集会室
議題	課題番号20 学校備品、教材備品の整理に関すること 課題番号22 保存文書等の整理に関すること
公開非公開の別	公開
出席者	委員 平林 道博 夏目 裕行 近藤 晃幹 藤田 みのり 鈴木 真弓 小林 康予 後藤 琢磨 深谷 友康 加藤 淳 近松 彩子 松田 正 梶屋 明広 松井 克仁 三浦 祐揮 藤田 航平 鈴木 直樹 藤野 貴子 増田 尚子 教育委員会 郷田 賢 各務 恵美 小木曾 健太 岩島 慶尚 三宅 勝義
会議の内容	会議録のとおり

副部会長 皆さん、こんばんは。時刻となりましたので、ただいまより第10回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会の教育活動・学校事務部会のほうを始めたいと思います。よろしくお願いします。

まず初めに、部会長挨拶です。よろしくお願いします。

部会長 皆さん、こんばんは。お忙しい中、また大変寒い中にお集まりいただきありがとうございます。

山岡中学校に新しい学校が増築、そして改築されますので、今、1月に入って工事が急ピッチで進んでおります。加えて、裏の山の斜面、レッドゾーンを解消するために、木を切って山を削るという、建築と土木の両方の工事を一遍にやり始めましたので、大変騒がしい、そして慌ただしい状況が今続いています。そんな中で、今日は皆様にお集まりいただき、学校の備品ですとか文書のことですとか、たくさんの意見をいただいて、もう決められるところはどんどん決めていきたいなど、どんどん推進していきたいと考えております。皆さん、どうぞ今日もよろしくお願いします。

副部会長 では、協議・報告のほうに入っていきたいと思います。

まず初めに、課題番号20番、学校備品・教材の備品の整備に関することについて、事務局をお願いします。

事務局 よろしくをお願いします。それでは、本日も一番最初にこの画面に出させていただきますけれども、「未来をつくる 人とつながる 地域と歩む」、このコンセプトに基づいて、今日もたくさんの意見をいただければというふうにして思っています。よろしくお願いします。

では、まず協議の1つ目です。学校備品・教材備品の整備に関することということで、前回の部会のときにたくさんの意見をいただきました。この不要備品の処分方法について、今日改めて提案させていただいて、今日ここで決議をいただけたらなということを思います。

では、前回に皆さんからいただいた意見の確認になりますけれども、最終的な不要備品への対応として、メルカリに出品であったり、フリーマーケットなどを実施するというような案が出ておりました。また、そこのところが出た収益は、学校のために使っていくとどうかということが出てきました。

また、5地区の公共施設に持っていく備品については、高等学校であるとか各団体、個人で欲しい人を募る、期限を設けて地域でリサイクルできるというということで、地域優先をとというようなご意見もございました。

3つ目は、学校でみんなが集まるときに、欲しい人があったりしたらもらってくださいというような会が企画できるというのではないかとというような意見、また、跡地利用のことについて、不要品の処分と同様に考えていく必要があるのではないかとというようなご意見をいただきました。

また、卒業生の方とか、愛着がある方に使ってもらえるという意見ですとか、部活動の備品のことや話題になっていないけれども、部活動のことは大丈夫かというような心配のご意見ですとか、思い出ルームみたいなものを作って、そこに残していくというようなこともできるのではないかと

う意見、また、寄贈してくださったものなど、全国レベルなど本当に価値あるものについては、子供を感化するという意味で、新しい学校に持っていくとい
いのではないか、それ以外のものについては、そこまででなくてもいいのでは
ないかというようなご意見もございました。

こういったご意見に対して、少し補足で説明させていただくところございま
すけれども、思い出ルームというようなご意見がございましたけれども、これ
に対して、統合主体となる南中学校の施設のほうで確認しますと、ギャラリー
という部分での展示と、あと、資料室という部屋での保管ができるという、こ
の2つで施設のほうを進めていますというお話がありました。

また、2つ目の部活動についてですけれども、この部分については現在もまだ
検討中ということで、令和7年秋の学校説明会までには具体的に決定されてい
くはずですが、今の段階ではまだそのところ確定というようなところが
はまだされていないということでした。

3つ目ですけれども、今、後藤校長からもお話がありましたけれども、今の山
岡中学校にあるものについてですけれども、既に校舎の工事のほうが始まって
おって、その中にあるものについては、作業をスムーズに進めるために少し
早めに対応する必要等がある、今回ご提案いただいた案に合わせてという
ところが、山岡中学校については難しい場合もあるということについては、こ
でご承知いただきたいというふうに思っております。

校舎の後利用についてということですが、こちらについては、今こちらの
準備室とは別のところで検討をされていくというところで、今のところは何
か特に検討されているというような状況のところはないという現状がございま
す。

先ほどお話に出した資料室とギャラリーについて、もう少し図面で、ちょっと
見にくくて申し訳ないんですけれども、説明ですけれども、これが今の山岡中
学校の1階の部分の図になります。皆さんにお配りした図のところにもありま
すけれども、下のところが階段で生徒が入ってくる部分です。今、生徒玄関に
なっている下駄箱とかがあるこの辺りのスペースをギャラリーということで、
展示などができるスペースとして確保するという計画でございます。

そして、その横の今教室があるところの一室のところを資料室ということで、
保管ができる場所にしておりますけれども、ここは普段生徒が出入りするとい
うような場所ではなくて、必要に応じて必要な資料を出して見たりする
ことができるということで、ここに子供たちが普段入ってきて見るという
ような場所ではないということですが、こういった保管しておく場所がある
という状況でございます。

このような状況を踏まえまして、再度備品等の扱いについてということで、前
回の案から、同じところもありますけれども、再度確認をしていきたいとい
うふうに思いますけれども、まず、それぞれの学校にある備品についてです
けれども、今の各校の先生方で、3つのものに分類をしていただくということ
から始まります。

1つ目は、恵那南中学校へ持って行くものということで、これは授業に関係する備品ですとか、ギャラリーで展示する物品、また資料室で保管する物品というところで、全国の入賞であるとか価値が高いというようなことについては、少し考慮していただいて選んでいただくといいということです。

2つ目は、もう廃棄するというふうで、もう確実に決めてしまうものです。これは例えば、5校で数を数えたときに、あまりにも数がたくさんあったりですとか、もう結構長いこと使っていて古いというものであったりですとか、もうどこが壊れているというものについては迷うことなく、これはもう廃棄ですというふうに分けるもの。

そして3つ目が、廃校までは判断するのではなくて、各校にそのまま残しておくというこの3つに、まず分けていただくということになります。各校でそのまま残しておくものについては、1年間程度をめどにそのままにしておくということになっていきます。

その次ですけれども、各校でそのまま残しておく、捨てるというふうな判断ではなかったもののうち、恵那南中学校や地域学習拠点施設等で必要になったり、いろいろ生活してくる中で、あれもギャラリーで展示してあったほうがいいねというものであったりですとか、資料室に持ってきて残しておいたほうがいいねというものが、思いついたときにはその都度移動させて、恵那南中学校のものを充実させていきます。

そのようにしながら、1年が過ぎる頃に、以下の順で引き取り先を照会するというところで、残ったものの中で、まず5地区の公共施設、園、小学校、高等学校、校舎の後利用施設、こういったところのめどが立っていれば、こういったところを優先にして、引き取り先の照会をしていきます。その次が市内の小中学校、そして3つ目が市内の公共施設ということで、順に照会をかけていきます。

そして最後ですけれども、市で対応というところが1つ入っておりますけれども、例えば寄附で頂いたものなど、フリーマーケット等にそのままかけてしまうのはちょっとまずいもの等が、やはりものの中にはありますので、市のほうで対応しなければいけないようなものについては、市のほうで先に除外をさせていただいて、それについては市のほうで対応するという手順が最後のところで出てきます。

そのようにしながら、最後まで引き取り先がなかった物品については、どの程度のものが残ってくるのかといたら、今、リストアップするということは、とても難しい状況もありますので、物品のリスト、このぐらいのものが、これからどういうふうにして対応していくといいのかというようなことを検討する対象としてありますよというようなものを、リストを1年後のときに作って、そのリストの中身に応じて地域ごとに対応方法を検討していくということをしていただければいいかなというふうにして思います。

たくさんのもものがこのときに出てくるということも考えられますし、さらに数が減っているというような場合もあるかと思えます。地区、学校によっても

違いがあるのかなというふうにして思いますので、市教委のほうからそのリストを踏まえて、この対応方法等について相談をさせていただくという流れを考えております。

そして、展示会等を実施するというふうにして、地区ごとの検討会になった場合には、前から意見がありますように、特に値段設定というところをすると、なかなか難しいところもありますので、1品につき100円以上程度で寄附をお願いするというような対応の仕方を、またこれ、地域の集まったところで相談をさせていただくというふうな形でどうかというふうにして思います。

それでも残ったものについては、校舎の改修、取り壊しの際に、もう廃棄するというふうにして既に決まっているものと合わせて、一斉に処分をするといったような流れ、こういった流れでどうかということを考えているところです。今説明させていただいたような流れを前回と同じように図にまとめたものが、最後のこのようなものになりますけれども、こういった流れで各学校の備品等については、できるだけ地域や思い出のある人に還元できる方法を取りながら対応していったかどうかということで、案をまとめさせていただいております。ご審議のほう、よろしくお願いいたします。

副部会長 ありがとうございます。今、事務局のほうから説明でございましたが、何か質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。どうでしょうか。

前回の協議を踏まえて、いろいろ改善やそういったものが取り組まれているかなと思っております。もしよろしければ、この後、決を採りたいと思いますが、その前にどうしてもという質問等ありましたら。

委員 どうしてもというわけではないですけど、今、説明があった課題20、9と10について決議するということね。

それで、今説明を聞いたんですけど、例えば備品等の扱いについて、1番、各学校で以下の3種類に分類するって書いてありますけど、各学校で判断ということだと思うんですが、大事なことは、新しくできる恵那南中学校の教育活動にとってどれだけのものが必要かという全体像を出さないと、各学校で数が多いとか古いとかいっても、判断が困っちゃうんじゃないかね。新しくできた恵那南中学校で、子供たちが充実した教材との関わりの中で、学習が充実するようにするためにはどうしたらいいかということで、全体として、例えばマットとか跳び箱とかありますよね、体育のとき。これ、基準なんですね、学級に1とか。

私は新しい大きな学校になったら、私は串原なんですけど、今まではマットとか跳び箱でも十分に運動量は確保できたと思うんです。でも、1学級40人とかになってくると、マットとか跳び箱に、実際に中で飛べる回数も6分の1とかになっちゃうと思うんですよね。

ですから、例えばそういうものは基準以上に残して、できる限り小さな学校の子供たちも多く教材に関われるような、顕微鏡とかそういうものもあれだと思うんですけど、今までは串原、1人に1台とかそういうふうにはやっていたんですけど、なかなか回ってこないんですよ。

ですから、全体で恵那南中学校の教育活動をどうしていくかということをはっきりさせないと、各学校で古いから捨てるとか、数が多いから捨てるとか、現在使っていないわけですよ、5つの学校で。基本的には古いかもしれないけど、足りているからすぐもったいないと思うんです。

ですから、そこにあるように、もっと全体を見て、例えばピアノは岩邑中学校にあるのが一番いいから、それを山岡中に持っていくというような発想にしないと、各学校で以下の3種類に分けてくださいねというふうでは、ちょっと学校もえらいんじゃないかなと思います。

副部会長 ありがとうございます。事務局から。

事務局 ありがとうございます。①のところ、恵那南中学校へ持っていくものの、授業に関する備品というところですけども、これにつきましては、中学校の教材整備指針ということで、人数に応じてどのくらいの数が標準として必要になるかというような基準がございますので、それに照らし合わせ、夏休みに5校の先生方で協力していただきながら、例えば顕微鏡であれば、標準に照らしたときに、どの学校に何個あって、その中の新しいものはどの学校のものなのかというようなところから、できるだけいいものが恵那南中学校に集まってくるようにということで、教科の先生方で見合いながら、持ってくるもの、そして持ってくるだけではなくて、新しく購入したいものということで、数のほうを調整しておりますので、ここの授業に関する備品については、そういったところで今整備のほうで、学校の先生とも一緒になって数の確認のほうを進めて、新しく購入するものにつきましては、もう既にリストのほうを上げていただいて、購入をするというようなことで進めております。

それでもなお余分に、よりよいものが各校に残っていて、新しい学校になったときに、もっと置く場所があるよとか、もっと数があったときには、もっとあれば、もっとたくさん活動ができそうだとするときには持ってこれるよということ、いきなり捨ててしまうのではなくて、各学校のほうにそういった備品についても残していただいて、理科室、標準数だけじゃなくて、もうちょっと置く余裕があるよというようなときには、数を増やせるよということ、対応できるようにということにして考えております。

副部会長 ありがとうございます。そのほかよろしいでしょうか。

では、今事務局のほうから提案がありました課題ナンバー20番のご提案について、この方向で進めていくということで、皆さんの決を採りたいと思います。その流れで賛成という方は、すいませんが、挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

副部会長 ありがとうございます。可決されましたので、このとおりで、このように進めていくをお願いします。

では、続いて課題ナンバー22番、保存文書等の整理に関することについてよろしくをお願いします。

事務局 よろしくお願ひいたします。今の備品等の1年間残すというような案を可決していただきましたので、そのところも踏まえてということになりますけれども、

5校の歴史資料とか寄贈物品等の保存・展示方針を検討するというのが、この部会の内容になっております。

そういったところの中で、前回のときにも少し見ていただいたんですけども、各学校のところ、今、こんなものがあるよというようなリストのところで見ただいたんですけども、本当に数ですとか中身ですとか、いろいろばらばらという状況でございます。

いろんなところから意見をいただいていたような、ギャラリーに展示する歴史的資料というようなものって、今、リストアップしているものの中にはあまり出ていなかったりですとか、共通して残っているというような感じが無いというようなところがございます。

そこで、今回ご提案したいのは、恵那南中学校のギャラリーで展示する資料ということです。やはり5校を、それぞれを大事にするといったことの中で、またギャラリーの広さとかも考えたときに、以下のような中身をまず展示してスタートするというのでどうかという、今回のご提案でございます。

まず1つ目は、今の各中学校の校旗です。これは、閉校式のときに一応市のほうに返納されるわけですけども、そちらをギャラリーのところに、まず5校そろって、これは同じものが5校ありますので、展示をするというものを置いてはどうかということです。

また2つ目、これまでにそれぞれの学校で航空写真を結構撮っていて、飾られているというようなことがあると思うんですけども、そういったものについてはギャラリーのところに置いて、校旗のそばに、こんな学校の様子だったよというようなことが分かる写真を残して、もう一つ、今、閉校記念事業の中で、各5校ともに航空写真のほうを撮るといような計画があるということをお聞きしておりますので、そういった最後の航空写真も並べて置いておくと、校旗とあとそれぞれの学校の校舎の様子ですとか、その当時の様子みたいなものが、そろって飾られるというようなところで、そろえてギャラリーで展示するというふうにしてはどうかというふうにして思います。

各校から、もしそれ以外のものでぜひこれをというものがあれば、また検討をするということになるんですけども、まず令和8年の開校時にはこの内容でスタートしながら、ギャラリーの状況等も踏まえて、1年間のいろんな整備の中で、ここに置かれないものが増えたときには、そのときには学校のほうが動いておりますので、学校を中心に地域の方とも一緒になって検討していただいて、これはぜひ置いておこうよということになったときには、少しずつ増やしていくというようなスタートとしてはどうかということをもた思っ、少しスペース的にも余裕を持たせたギャラリー展示のスタートでどうかということ、提案でございます。よろしくお願いたします。

副部会長 今、恵那南中学校のギャラリーで展示する内容についての提案がございました。そのことについて何か質問、もしくはこういったものがないのではないかとアイデア等ありましたらお願いします。質問等でも構いませんが、大丈夫でしょうか。

では、課題番号22番、保存文書等の整理に関する事で、8年度開校当初のギャラリーの展示物について、今提案があった1から4番のものでスタートするという事で決を採りたいと思います。このように、このことについて認めていただく方は、挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

副部会長 ありがとうございます。認められましたので、この方向でよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日、協議に付するべき内容が2つ終わりましたので、この後、報告等に入っていきたいと思ひます。事務局、お願ひします。

事務局 よろしくお願ひいたします。それでは、その他の課題の中で、今日ここでご審議いただくということではないんですけども、今、話が進んでいる内容がございますので、報告のほうをまとめてさせていただきたいというふうに思ひます。

それを踏まえて、ぜひ、もっとこういったところも考えていくといいのではないかといいようなご意見が再度いただければ、そういったところを踏まえて、また今後の話合ひのほうを進めてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

まず、課題16です。

教育内容に関する事で、学校中心に教育課程の編成に向けた事務を行う中で、部会に進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見を伺うということが本年度の内容になっておりますけれども、まず、恵那南中学校の日課について、今、このようなどころまで検討のほうが進んでおります。

まず、バスの運行スケジュールのほうが決まっております。本当は、この部会が総会の後に行われる予定でしたので、総会のときにバスの運行のものが決を採られた後に、この部会が開かれる予定で、ちょっと今順番が逆転しているんで、まだ皆様ご承知でないところもあるんですけども、バスの運行のところについて、今、幹事会、理事会と進んで、今度総会に諮る内容となっております。

そういったバスの運行スケジュールに合わせてということで、日課のほうですけども、バスのことがありますので、まず、朝部活のほうは実施をしないという方向に進めながら、朝の活動の開始ですけども、8時20分から朝の会を行うというような日課でいけないかなということで進んでおります。8時10分というような案も出ているというふうなことを聞いておりますけれども、このあたりのところで今検討が進んでいます。

帰りの時間ですけども、学校を16時40分までには、遅い日課の日でも出発するということなんです。どうしても降りる場所は人によって違うので、家に着く時間というのは様々になるんですけども、何とか16時40分までには学校を出発する。これは、部活があったりして、一番遅くなった日でもこの時間というところで、今、スケジュール調整のほうをしているところです。

続きまして、課題18番です。

生徒会に関することというところで、ウェブを中心とした交流等の様子について部会に報告するとともに、必要に応じて意見を伺うということになっております。

そういった中で、令和7年度の生徒会についてということで、今年学校のほうでは話を進めてきておりました。

そこで、各校の生徒会役員や委員会について、どんな委員会があるかということですか、どんな役職があるかというようなことについて交流をしたりして、令和7年度のときにそれぞれの学校の委員会活動みたいなものをそろえておくと、令和8年度のスタートのときに子供たちが混乱しないのではないかというような案もあったんですけども、すり合わせてくる中で、やはり今それぞれの学校の委員会活動の実態が大分違うということで、令和7年度にそろえるということは、ちょっとこれはやっぱり難しいということになりました。

理由としては、やっぱり人数が異なるので、委員会の数をそろえても、それぞれの委員会に所属するメンバーの人数が全然変わってしまうということや、これまでの歴史、それぞれの学校の取組の経緯がございまして、そういったところも踏まえると、やっぱりちょっとそろえるのは難しいというふうで進んでおります。

ただ、令和8年度の生徒会役員については、令和7年度の生徒会役員を中心に案のほうをつくって、生徒たちで決めていくというような流れで進めていきたいというふうで話が進んでおります。令和7年度中に、8年度の役員についても選ばれている状態で4月を迎えられるようにということで、令和7年度を動いていきたいというふうで、5校のほうで話のほうが進んでおるところです。

続きまして、交流事業に関することです。

こちらのほうも交流事業の進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見を伺うということになっておりました。

前回、中学校の交流事業のほうを紹介しましたが、今回は小学校の交流事業です。こちら、12月10日に山岡中学校のほうでレクリエーション大会がありました。講師に田口恵美子先生をお招きしてということでありました。

資料の中にはございませんけれども、写真を持ってまいりました。前のほうに見えますのが、講師で役を務めていただいたボランティアの方々ですけれども、5校の小学生たち、山岡中学校の体育館のほうに集まって、最初グーパーゲームみたいな感じで、みんなでそろった活動をしていたり、そのうちだんだんグループごとに、ここは自己紹介ゲームのような形でやっておりますけれども、こっちになるともう少し人数の多いところで、風船のようなものを使ったバレーボールのような形でグループで活動するというようなこともしておりました。そうですね、ここら辺も車座になっていろいろ話をしたりですか、ここはジャンケンしたりとかしていました。このときは串原小中の安藤校長先生が代表して、ご挨拶もいただくというような取組のほうを進めてまいりました。

いろんな小学校に行ったときに、このときの様子とかを聞いていますけれども、本当に最初に行く前は、話せるのかなというようなことをすごく不安に思って

いた6年生が多かったというような意見があったんですけれども、でも、行ってみたらすごくいろんなことが話せて楽しかったということ、6年生の子たちが話している子たちが多かったということで、小学校の先生方もこの事業を大変喜んでおみえでした。

そして、今年度ですけれども、あと3月19日のところで、今度また中学校の第2回の交流会のほうが予定されております。

こちらは、今度は中学校の生徒たちが企画したスポーツ大会ですとか合唱の活動のほうがございます。次回のこの部会るときには、中学校の交流事業の様子もまたお伝えできたらなということをおもっております。

このような今年の交流事業の様子を踏まえてですけれども、来年度の交流事業の計画について、こんな感じで進めたいなということをおもっているところです。中学校の交流事業については、1学期と2学期に各1回ずつ実施するというところで、今度は1年生と2年生がありますので、1年生が1学期と2学期、2年生が1学期と2学期ということで、合計4回ということになるかなというふうにして思います。

小学校の交流会のほうにつきましても、これもなかなか小学校の先生方、好評でしたので、来年の6年生の子たちも実施したいなということをおもっているところです。

こちらについては、あまり早い時期ではなくて、1月末、新しい校舎ができたぐらいかなという印象を持っておりますけれども、やれたらどうかというところをおもっているところです。

どちらもやはり仲間づくりを中心、そういった体験活動を中心として進めたいというふうにしておもっております。

ただ、今年度と大きく違うところとしましては、今年は会場として山岡中学校のほうで、ここに来るんだよというようなイメージを持ちながらということができたんですけれども、来年度の1学期、2学期は特に、工事の真っ最中で体育館等も使えないということがございますので、山岡中学校以外のところで会場のほうを確保して、交流活動のほうを行っていくというような方向で進めたいなということで、今、学校等でも計画を練っているところです。

続きまして、課題21番、学校図書に関することです。

こちらについては、現行の図書館とランチルームの階段配置等の改築の計画策定を受け、内部の配置等をどうするか話し合うということが今年の課題となっております。

春のときにいろいろご提案をさせていただいたところですが、最新のイメージ図のほうが上がってきましたので、こちらについての紹介です。

こちらの工事そのものは、令和7年の10月から12月ぐらいの予定ということで、今、計画のほうが進んでいるところです。

こここのところ、こういったイメージ図について、学校図書館司書の先生方にも見ていただきながら、要望のほうが反映されているかというようなところで、確認をしてもらいながら進めております。

例えばですけれども、こここのところ、お手元の図のほうがいいかもしれませんけれども、ここに係の人がいるんですけれども、ここに談話の机があるんです。このままの本棚の高さだと見えないんです、司書さんから。なので、やっぱりそうならない、死角が生まれない配置というものに、ちょっとこここのところはこのままでは困るよというようなこととかもご意見としていただいています。こちらのメディアスペースのことにつきましても、フローリングがいいのか、マットがいいのか、いろいろな意見があるんですけれども、司書さん方の強い思いとして、どうしてもこここのところは掃除の行き届くかどうかということからすると、ぜひ床のほうがいいですということで、そういったご意見いただきながら、一部はマットのところがあってもいいんですけども、全体マットということになると、どうしても清掃が行き届かないですよというようなご意見をいただきながらということになっております。

これを見ると、一瞬カーペットっぽく見えるんですけれども、そういったところについてもご意見いただきながら、我々がこちらの部会のほうで出した意見等も反映されているかどうかというようなところもチェックをしながら、計画のほうを進めていただいているところです。

以上が、この部会に関する課題の中で、今話が進みつつある内容というところで報告をさせていただきました。

副部会長 ありがとうございます。今、報告があったことについて何か質問等ございましたら、非常にたくさんの内容の報告でしたので、少しだけ時間を取りますので資料を見ていただき、もし質問等ありましたら、お問合せいただけるといいかなと思います。よろしいでしょうか。

委員 中身的にはこれでいいと思うんですけど、進め方というか手続について、前にも話したかもしれませんが、課題の16、以下のことについても、専門部会の教育事務部会で決議しないと駄目じゃないですかね。報告って言われますけど、どうしてさっきのきちんと決議してそのとおりにやりますよって、総会にかけていくわけですね。

これも、例えば16ページ見ると分かるんですけど、16ページに教育課程のこと書いてありますけど、学校中心に教育課程の編成を受けた事務を行う中で書いていますね。学校って言いますけど、教育課程の編成の権限は恵那南中学校にあるんです、新しい学校にね。現在、恵那南中学校の校長もいないし、職員もいないし、学校って実態がないので、教育委員会に権限があります。その権限を、この統合準備委員会の教育事務部会に委任しているんですよ。ですから、学校中心に、学校ってこれ何ですか、5つの学校ということ。（「そうですね。」と呼ぶ者あり）5つの学校の何か、統合準備委員会の教育課程に関する事で役割なんか持っていないんですよ。教育課程に関する事に責任と、教育事務部会という名前と責任において決定していくということが、私たちの仕事だと思うんです。意見があったら伺いますよって、私たちが決めますから、学校決めますからって、私たちが何のために来ているかあまりよう分かんず、そうやって言われると。

ですから、中身的には、学校や事務局が一生懸命関わってくれたから、反対はしないけれども、例えば何ですか、さっき出ましたみたいに、交流会の計画が25ページにあります。令和7年度の交流事業の計画についてこのように進めていきたいと思いますが、賛否を問うというふうにして決議していかないと、どこで決まっているのか、統合準備委員会の中で決めていく、統合に関する準備は統合準備委員会がやっていくんだから、やるべきではないかなと思うんですけど、いかがなんでしょう。

もう一つ、18ページにあります日課なんですけど、帰りのバスは16時40分までに出発するってありますが、できればやっぱり日没までに自宅に帰れるようにしてやりたいなって思うんです。普通、近いところもあると思うんですけど、16時半には一般的に下校させていますけど、どうしても16時40分に帰すと、さらに50分乗っていくんです、長いところは、5時半ですよ。真っ暗けなんですけど、苦しいとは思いますが、もう少し帰りのバスの時間を早めることはできないんでしょうかという意見です。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。今日の前半もそうでしたけれども、本当にまとまった案ができて、ここで決を採っていただくというような案がまとまったときには、本当に決を採って承認いただきたいというふうにして思っております。

交流事業等につきましても、今こういった方向で日程調整とか、各学校の行事に入れられそうかどうかというところについても、ちょっとご意見いただいているところですので、そここのところでご意見集約して、次回、最後のときに、令和7年度の交流事業ということでご承認いただきたいと思っております。今言われるような形でどんどん決を採っていくというような進め方、やっていきたいと思っております。

また、日課のところにつきましても、今いただいたご意見等を踏まえて、何とかできないかなというようなこと等についてもまた検討して、日課のところをまとまったら、またご紹介して承認いただくというところで進めていければというふうにして思っております。

部活動の時間を何とか週に複数回取りたいという、そういった地域の方の要望等も踏まえて、何とかその時間を捻出できるようにということを考えたときに、どうしても毎日16時40分ということではないんですけども、そういった部活動を入れたような日になると、少しやっぱり40分ぐらいまでにしないと、部活の時間が本当にどんどんそこが短くなってしまいうというところで、日課の編成のほうも苦勞しております。

ただ、日没までに帰りたいという思い等もよく分かりますので、そういったところについてもまた検討の材料としていただきたいというふうにして思います。ありがとうございます。

委員

すいません。一つご提案というか、お願いというか、いよいよ恵那南中学校が形になっていくかなとのが見えてきて、わくわくするんですけども、工事現場

の見学であることをもし子供たちが、我々部会もできるといいかななんて。そうすると、新しい中学ができるかなっていうことを我々保護者もですけど、多分工事現場は危険だと思うので、もうちょっとできてきてからでもいいと思うんですけど、ツアーで見ると、おおみたいな、いよいよだなんていうのができるといいかななんて思うんで、お願いというか、ご提案というかでございますので、いかがでしょうか。

以上です。

事務局 ありがとうございます。今、ご提案いただいたことについて、自分のほうでできるできないというところはなかなか言えないところはあるんですけども、ただ工事の様子等々についても、先ほどの交流事業と同じような形で、もしこういう部会があったときに、ちょっとでも様子の報告等が欲しいということであれば、それもちっと冒頭の部分とかに入れさせていただくということは可能かなというふうにして思いますけれども、まずはその部分に入れていただくということで、ツアー等については、ちょっとまた持ち帰って検討させていただくということでよろしいでしょうか。

委員 はい。動画でもいいので、見れると。

事務局 ありがとうございます。

副部長 そのほか、よろしいでしょうか。

委員 ちょっと質問なんですけど、ギャラリーに置くものところで、各学校閉校に伴う写真を各校撮って飾るというようなお話があったんですけど、今のところ閉校式をきってそれぞれの学校では、山中はどうか分かりませんが、ほかの4校では考えているとは思いますが、先ほど航空写真とか初めて聞いたんですけど、教育委員会なのか校長会なのかよう分かりませんが、閉校行事みたいなものについての、何かこういう、教育委員会として考えてみえるようなことがもしありましたら、教えていただきたいと思います。

事務局 ありがとうございます。ちょっとこの部会で検討しているものとは違うところがありますけれども、閉校記念式典についてはほかの部会のほうで提案のほうが行われておりますけれども、式典につきましては、各5校がそろったような中身で粛々と式典のほうを行って、ただ、それぞれの学校ごとに、それ以外での閉校記念事業といいますか、何かセレモニー的なことをいろいろな各学校等で検討はしたいということでもありますけれども、ただ、航空写真等についてのところ、お金がかかることについては、不公平がないようにということで、内容等はそれぞれ教えていただきながら進めているところですが、何か補足はありますか。

委員 5校の校長のほうでも閉校についての話は一緒に考えておきまして、航空写真を順番に撮って、各学校を回って撮って、人文字を作ったりとか、手を振ったりとか、それぞれの学校に合わせてそういうものを作って、あとはそれをファイルにして、とじるファイルですね。ファイルにして、その写真をプリントアウトしてあるものがファイルになって、それを生徒には配ろうと。それからあと、見開きのリーフレットのようなものも作って、それは地域の住

民の方にもお配りできるようにしたいなというような案で、教育委員会と一緒に考えて、これはどの部会でしたかね。総務部会ですかね。——のほうで具体的になるようにということで今考えております。

委員 ありがとうございます。昔は、航空写真というと飛行機で撮ったんやけど、今はドローンの時代なので安く上げるということで、ドローンを使って写真を撮りゃあいいかなと思います。これは、私の意見です。

事務局 ありがとうございます。またお伝えしておきます。

副部長 そのほか、よろしいでしょうか。

委員 冒頭、校長先生のほうから、今、工事が行われて非常に騒がしくなっているというようなお話がありましたけれども、実際授業に影響とか、工事が始まる前にそういった防音対策とか騒音対策をするというようなこともPTAでおっしゃっておりますが、その辺で実際の意見として何か出ておるのでしょうか。それから、それが非常に実際に意見が出ていて、改善というか、対策がなされているのでしょうか。そのあたりをお聞かせください。

事務局 実際には授業に支障も出ています。音がうるさいので、ちょっと聞こえないという、もうちょっと先生、大きな声で言ってくださいというようなことがあって、こちらも大きな声を張り上げて、いつも以上の声で授業をしているというようなことがあります。

業者のほうに何とかありませんかということも大分言ったんですけど、これ以上のことはできないという、妥協点で、何とか授業は大きな声でやっていますが、テストですと、どうしても音を出すと困るところについては、毎週1回工程会議という会議がありますので、この日の何時間から何時間までの間はもう無音でお願いしますというような無理なお願いすると、それは聞いてもらえません。あしたから中学校で期末テストがありますけど、無理を言って何時間かはそのようなことをやっておりますんで、支障が出ながら、すごい、ぎりぎりの妥協点探って何とかやっているような状態です。

以上です。

副部長 そのほか、よろしいでしょうか。——ないようですので、次回の部会についての案内をお願いします。

事務局 いろんな意見、ありがとうございます。今日いただいた意見等も踏まえながら、次回また承認いただく内容にまとめて持ってこれるようにということで進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次回ですけれども、前回のときにも確認させていただいたように年度内であると1回、こちらの部会のほうを行いたいというふうにして思っております。できれば、先ほどもお伝えした3月19日の中学校の交流事業が終わった後の頃に、今年度の総括という意味で一応部会のほうを行いたいというふうにして思っております。

場所としては、5地区回ってきまして、あと残りは串原地区ということになっておりますので、3月末に串原地区でというふうにして思っておりますが、いかがでしょうか。

副部会長 次回開催地ですが、串原地区、3月の下旬ですね。開催予定ということですが、皆さんよろしいでしょうか。

事務局 また詳しい日時につきましてはご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

委員 要望いいですか。予定をもうちょっと早めに言っていただけるとありがたいなと思っています。すいません。

事務局 すいません、ちょっと今回、資料のほうもいろいろ手違いがあって、ぎりぎりに送ってしまったということを聞いております。申し訳ございません。

副部会長 そうしましたら、また日時が決まれば、まずその日時だけでも早く伝えていただけるようお願いしたいと思います。それでよろしいですか。

委員 ありがとうございます。

副部会長 これで全ての内容が終わりました。
最後に何かという方がみえましたら——大丈夫そうですね。
大変雨も降っていて、寒くてちょっと帰り道、危険なところもあるかと思えますので、お気をつけてお帰りください。
これをもちまして第10回の教育活動・学校事務部会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。